

## 今後のスケジュール

回数	内容（予定）
第1回 (7月)	<b>瑞穂市における成年後見制度利用ニーズについて</b> 瑞穂市の人口構造、高齢者人口の推計、認知症高齢者数の推計、障がい者の現状、成年後見制度の潜在的ニーズ、瑞穂市の現状 <b>瑞穂市における成年後見制度利用支援の取り組みについて</b> 市役所（高齢福祉・障がい福祉）の現状、地域包括支援センターの現状、市社会福祉協議会（福祉総合相談センター）の現状
第2回 (9～10月)	<b>制度利用支援機関における相談支援の在り方</b> 地域包括支援センター、市社会福祉協議会（福祉総合相談センター）、障がい福祉部局での相談案件における成年後見制度利用相談との連携の仕方を検討する。
第3回 (11～12月)	<b>広報・相談の方法について</b> より多くの市民が本制度を知るためには、どのような方法が良いか検討する。
第4回 (1～2月)	<b>後見人支援の方法について</b> 後見人に選ばれた方の実情を参考にしながら、利用支援機関としてどういったフォローが必要であるかを検討する。
第5回 (4～5月)	<b>市民後見人の育成について</b> 県内での市民後見人の選任実績がない中で、どの段階から市民後見人の育成に取り組むべきなのか、また、取り組むのであればどういった方法が有効なのかを、他市の活動を参考に検討する。
第6回 (6～7月)	<b>最終とりまとめ</b> これまでの議論を取りまとめ、瑞穂市における利用支援機関の在り方を提言する。